
SON OF CATAclysm

由来神話

**Everybody inherit the earth, why not?
We can sell it to the frail, and feed 'em fairy tales**
– Vast Aire, *Straight Off The D.I.C.* by Cannibal Ox

The Origin Myth

2010年夏、石油採掘施設“ディープ・ホライズン”の爆発により大量の原油が数ヶ月に渡りメキシコ湾へ流出し、史上最悪の原油流出事故となった。共にアメリカ南部の出身であるStewart Walker (ジョージア州)とデザイナーのEaston West (フロリダ州)は、見慣れたビーチが生命を脅かすほどの大量の油膜に覆われ変わり果てた姿を見る事となった。Jared Diamond著「Collaps (文明崩壊)」は、いかに高度な文明ですら自らの崩壊をもたらすのか、その貴重な歴史的視点を綴っている。

テクノ・ミュージックは、Alvin Toffler著「Future Shock」からKraftwerk、Parliamentを言及するDerrick Mayのように、常にフューチャーリズムというものにその根柢を持ち続けていた。しかし、コンセプトとしての未来はもはや宇宙競争時代に魅了していたものでは無くなってしまった。テクノロジーは発展し続けているが、生態的災害や人道的災害から私たちを救ってくれてはいない。

Son of Cataclysmのシリーズ第一弾「Artifacts of the pre-Apocalypse」は世界の終末に焦点を当て、歴史学者の正確な視点と共にその警告サインの目録を作成している。ウェブサイトSonofcataclysm.comでは、その主な資料と写真、Easton Westによるオリジナル作品を展示。

音楽的には、Stewart Walkerによるエレクトリック・ギターを基盤に新しくプロセスした音色と、ドラムが複雑にパロック調オーケストレーションへ絡み合うサウンドを展開。そのスタイル自体は彼のオリジナルレーベル、Persona Recordsで既に始めていたものであるが、今回はさらにElisabeth Kübler Rossの「Five Stages of Grief (悲嘆の5段階)」— “否認”、“怒り”、“取引”、“抑うつ”、“受容”からインスパイアされた表現派ノイズと緊迫感を取り入れている。

Contact Stewart Walker
stewartwalker@mindspring.com